

第15回 こども急性疾患学寄附講座(神戸市)公開講座

こどもの病気の 治療と予防



日時

2017年3月18日(土)
10:30~12:00

場所

神戸こども初期急病センター
なぎさホール

参加費
無料

1) あいさつ

2) 公開講座

1 お薬ってホントに重要? こどもの病気と薬について

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野
こども急性疾患学部門

特命助教 南川 将吾

2 ワクチンの効果は どうなっているの? ~ヒブ・肺炎球菌・ロタウイルスワクチン~

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野
こども急性疾患学部門

特命教授 森岡 一郎

託児所あり 3月10日(金)

希望者は 電話 078-382-6090 までご連絡ください。



神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番1 (HAT神戸内)

■ 阪神電車「春日野道」駅から南へ徒歩約8分

■ JR「灘」駅南口より南へ徒歩18分

※満席の際には入場できない場合もございますので、ご了承ください

お問い合わせ先

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 TEL.(078)382-6090

主催/神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)

後援/神戸市・神戸市医師会・神戸市小児科医会

お薬ってホントに重要？こどもの病気と薬について

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門
特命助教 南川将吾

皆さまはかぜ薬の効き目について、どのようにお考えでしょうか。多くの病院で処方されており、薬局でもごく普通に販売されているかぜ薬ですが、「かぜをひいたときにはかぜ薬を使用する」これは本当に重要なのでしょうか？

代表的なかぜ薬8種類の効き目について、現在わかっていることを科学的根拠に基づいてわかりやすくお話ししたいと思います。こどもにとって最も身近である病気「かぜ」の治療について、一緒に考えてみましょう。

ワクチンの効果はどうなっているの？ ～ヒブ・肺炎球菌・ロタウイルスワクチン～

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門
特命教授 森岡 一朗

出生早期から接種を行うワクチンは多い。しかし、それらの予防接種を行なった結果、どのような効果をもたらしているかを知る機会は少ない。本講演では、生後早期から行うワクチンのうち、多くの赤ちゃんが接種を受けているヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン、ロタウイルスワクチン接種の効果がどうなっているのかを講演したい。